



能登半島地震・豪雨 2025年活動報告



Save the Children



2025年の活動+2024年の活動ハイライト

2024年支援活動 >>>

1月

1月1日
地震発生

情報発信



子ども支援の
ニーズを調査



石川県七尾市、
穴水町、能登町、
珠洲市、輪島市
および金沢市内
で調査を開始

緊急子ども用キット
などの提供



避難所などで衛
生用品、遊び道
具などを詰めた
キット、ぬいぐる
みなどを配布

「こどもひろば」
1月～4月実施



子どもたちが安
心・安全に過ご
せる「こどもひ
ろば」を避難所
などで実施

「子どものための
PFA」研修
1、2、6、7月実施



2月

給食補食支援
2月～4月実施



3月

屋外での
「子どもの遊び場」
3月～8月実施



放課後子ども教室などの
再開をサポート

子どもの保育を支える
専門の人材サポートを実施

4月

備品支援



5月

給食用簡易食器支援
5月～7月実施



6月

学校備品支援

防災のための
備品支援

放課後児童クラブ(学童保育)へ
保存用飲料水、防災ヘルメットを支援



7月

能登子ども
アンケート実施



子どもたちを対象に
アンケートを実施、
8月に結果を報告書
(速報版)として公表

9月21日
奥能登
豪雨発生

10月

学校備品支援



11～12月

「能登子ども
サポート給付金」
11～12月実施



小学6年生から高校生世代の
子どもを対象に給付し、
アンケートを実施

2025年支援活動 >>>

ご支援・ご協力をありがとうございました。

セーブ・ザ・チルドレンは2025年も、2024年能登半島地震および9月豪雨で影響を受けた能登地域の子どもたちのために、さまざまな活動を続けてきました。

災害による長引く経済的負担を少しでも軽減するため、子どもたちの学びを支える給付金や、スポーツや文化活動を応援する助成プログラムを実施しました。復旧・復興がまだ道半ばの中、文房具や部活動に必要なシューズを購入した子どもたちの喜びの声や、スポーツや文化活動に楽しそうに打ち込む姿は、私たちの日々の活動の大きな励みとなりました。こうした前向きな変化は、復興への一歩だと感じています。

セーブ・ザ・チルドレンの緊急・復興の活動を支えてくださった皆さまに感謝するとともに、能登半島地震および豪雨からの一日も早い復興を願っております。

(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン専務理事・事務局長 高井明子)

4月

- 給付金アンケートの結果を公表
「能登子どもサポート給付金」の
アンケート結果を報告書として公表



- 「能登子どもスポーツ・文化ファンド」
4月～10月実施



©エールコンサート実行委員会

子どものスポーツ・文化活動をサポートするために能登の非営利団体を助成



©英城会

- 七尾市学童保育の
エアコン支援

エアコン設置支援の寄付贈呈式を開催



5月

- 輪島市仮設6小学校
追加支援(ピロティの緩衝材)



11月

- ヒートテック肌着を
学童保育などへ提供



七尾市、穴水町、能登町、輪島市の学童保育・児童館にユニクロのヒートテック肌着を提供

- 「能登子ども給付金
～卒業・新入学サポート2025～」
11～12月実施

12月

- 輪島市保育園に
プレハブ倉庫支援

セーブ・ザ・チルドレンは、2025年も能登の子どもたちを支援しました

能登子どもサポート給付金

セーブ・ザ・チルドレンが2024年に能登での支援活動が続ける中、子どもの進学や就学にかかる費用を心配する声がありました。2024年7月に実施した「能登子どもアンケート」でも、学習環境の不安や経済的支援を求める声が少なくありませんでした。

そこで、災害の影響で進級・進学や就職準備に支障がないよう、能登5市町で被災した子育て世帯を対象に「能登子どもサポート給付金」を実施。2024年11月に募集を開始し、2025年3月までに4,051人の子どもたちに給付しました。給付金は、新入学のための制服、通学カバン、靴、教科書、部活動の道具などに活用されました。「家計が厳しいのは判っているので、親に頼みにくかったけど、すぐを買ってもらえて嬉しかったです」「自分好みの物をそろえる事ができました」など、子どもたちが購入したいものを選べた喜びの声が届きました。

【対象】 発災時に石川県七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市のいずれかに在住し、住宅が一部損壊以上の世帯の小学6年生から高校生世代

【給付額】 子ども一人につき一律3万円（返還の必要なし）

【給付件数/人数】 2,876件/4,051人

*「給付件数」はさようだいまとめて申請した場合などを1件と数えている。



給付金の利用者提供写真



アンケート調査報告書

「能登子どもサポート給付金」の給付認定世帯を対象に、2024年11月から12月に任意のアンケートを実施し、保護者などから2,876件の回答を得ました。

アンケート結果からは、能登半島地震から約1年が経過しても、子どものこころのケアや遊び・学びの環境整備が不十分と考える世帯が非常に多いことが浮き彫りになりました。自由記述では、通学路の修繕の遅れや進学費用、生活再建への不安が率直に記されていました。特に一部損壊や準半壊など、公的災害支援制度の対象外となった世帯からは、経済的支援の必要性を強く訴える記述が多くありました。

2025年4月24日、報告書を石川県教育委員会へ提出し、石川県庁で記者説明会を実施。さらに、アンケートで協力を得た能登5市町やこども家庭庁にも報告し、支援制度の改善や支援の拡充などを働きかけました。



調査報告書の詳細はこちらから

アンケートに寄せられた声

発災前と比較すると、子どもの習い事やスポーツ少年団での活動などできない事が多い。それにより、子どもが将来的に選択肢の幅が狭まるのではないかと
思う時がある。
穴水町、小学生世帯

いまだに道路、学校施設など、整備されていないで困っています。子供は自転車通学ですが、道がガタガタで毎日親が送迎しています。学校の敷地内アスファルトも割れたまま、運動場もひび割れたままで大変危険です。
七尾市、高校生世帯

子供達、若者、子育て世代への政策を充実してほしいです。
能登町、中学生世帯

住居に被害がないから大丈夫ということではない。道路状況や倒壊家屋への危険、子供の遊び場の確保など…震災前と同じ生活ができないことによるストレスが所々にある。被害は目に見えるものだけではないということに、もっと理解を深めてほしい。
輪島市、小学生世帯

能登子どもスポーツ・文化ファンド

能登では、子どものスポーツ・文化活動を行っている団体が様々な困難に直面していました。災害により引越す世帯が増え、指導する大人や参加する子どもが減少し、合同チームを発足させるなどして活動を継続している団体もあります。また、練習場所が地震で壊れたままだったり、仮設住宅の設置に転用されるなど、場所の確保が難しい団体も多くみられました。代替場所への移動には長距離の車移動が必要でガソリン代がかかりますが、住宅再建などで家計が厳しい中、こうした負担は大きな課題となっています。

こうした現状を踏まえ、助成プログラム「能登子どもスポーツ・文化ファンド」を実施。子どもたちが自分らしく過ごせるために、子どものスポーツ・文化活動を行う団体に費用を助成しました。地元の団体や自治体からは、助成がありとても助かったなどの声が寄せられています。



©飯田町燈籠山祭り保存会

■ 飯田町燈籠山祭り保存会

【助成対象事業の実施期間】 2025年4月1日～10月31日

【対象となる団体】 石川県七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市内のスポーツ少年団、クラブ、同好会、祭り保存会など、子どものスポーツ・文化活動を実施する団体

【対象となる活動】 スポーツ、文化活動、伝統芸能、祭りなど、子どもが参加するスポーツ・文化関連活動。そのうち2024年1月の能登半島地震および9月の奥能登豪雨の影響により、継続・再開が難しい活動

【助成先団体数】 51団体



©ドッジボール珠洲クラブ

■ ドッジボール珠洲クラブ



©輪島高洲太鼓

■ 輪島高洲太鼓



©中島女子ミニバスケットボールクラブ

■ 中島女子ミニバスケットボールクラブ



©七尾DACHS

■ 七尾DACHS



©東湊ベアーズ

■ 東湊ベアーズ



©穴水町スポーツ少年団 穴水町ソフトテニス教室

■ 穴水町スポーツ少年団
穴水町ソフトテニス教室

ファンドを利用した子どもや保護者から寄せられた声

地震で使えなくなった道具を買ってもらってまた練習できて嬉しい。小学4年生／輪島市

2年ぶりに合宿ができてうれしかった。小学6年生／七尾市

チームのみんなとお揃いのウェアで練習することができてうれしかった。小学3年生／珠洲市

(新調した)マットの上で練習をすると足が痛くない。小学2年生／穴水町

震災からの復旧が続く中、子供たちにとってスポーツは、心の支えであり、日常を取り戻す大切な時間でもあります。そんな中でのご支援は、子供たちが安心して活動を再開し、仲間と共に成長していく力となりました。保護者／能登町

使用出来なくなった練習道具を支援していただき、使用する事で子供達が喜んでくれ、日に日に上達していくので、成長を近くで感じられた。保護者／輪島市

七尾市学童保育へのエアコン設置支援

地震の影響を受けた放課後児童クラブ(学童保育)が小学校内に移転することに伴い、子どもたちが快適に過ごせるよう、2024年に七尾市から支援要請を受けたエアコン設置を実施しました。2025年3月に4台の設置が完了し、4月26日に七尾市内で目録贈呈式を開催。学童保育の子どもたちと保護者、支援員、七尾市関係者など約30人が参加しました。当日は、子どもたちから直接お礼の言葉と、メッセージとイラストが描かれた大きなボードのプレゼントがありました。

贈呈式後には、株式会社王将フードサービスの協力によりキッチンカーで出来立ての料理がふるまわれ、子どもたちは笑顔でラーメンと餃子を楽しみました。



輪島市仮設6小学校ピロティの緩衝材支援

輪島市では地震により市内の小学校在り大きな被害を受けました。現在、6校の子どもたちは被災を免れた小学校のグラウンドに建てられた仮設校舎で学びを続けています。子どもたちが安全に体を動かせる環境整備が必要との輪島市教育委員会からの要請を受け、体育館1階ピロティに人工芝を設置する支援を行いました。さらに、柱やコンクリート壁による危険性を減らすため、2025年5月に緩衝材設置の追加支援を行いました。ピロティは現在、仮設校舎で学ぶ子どもたちの体育の授業や休み時間の遊び場として活用されており、子どもたちからは「遊ぶ場所ができてよかった」、「人工芝だと怖くないので思い切り走れる」といった声が寄せられています。



学童保育・児童館へのヒートテック肌着支援

2025年11月、本格的な冬を前に、株式会社ユニクロの活動「The Heart of LifeWear」と連携し、七尾市、穴水町、能登町、輪島市の学童保育と児童館に、ユニクロのヒートテック肌着計5,100枚を提供しました。

11月10日には七尾市内の学童保育をユニクロ七尾店の店長とセーブ・ザ・チルドレンのスタッフが訪問、子どもたちにシャツやタイツを手渡しました。訪問先は発災直後に飲料水や食品などを提供した施設で、子どもたちもお茶やフルーツ缶などの支援を覚えていました。また、ヒートテックを受け取った学童保育支援員からは「(子ども)直接手渡しされたことで喜びも増していたと思います」との声も寄せられました。



2026年も進行中です >>>>

能登子ども給付金 ~卒業・新入学サポート2025~

2024年11~12月に実施した「能登子どもサポート給付金」アンケートでは、子どもの学びや生活に被災の影響が続いていることが分かりました。そこで2025年は、進学や就職を控える小学6年生、中学3年生、高校最終学年を対象に給付金を実施しました。申請受付期間は11月から12月で、2026年3月までに給付を完了予定です。この取り組みは、子どもたちが新しい一歩を踏み出すための支えとなることを目指しています。

輪島市保育園プレハブ倉庫設置支援

地震の影響で、輪島市の保育所は保育を継続するにあたり大きな困難に直面しています。施設の修繕工事の遅れに加え、敷地内の倉庫も劣化や災害の影響で使用できず、倉庫内の備品の保管場所の確保が急務となっています。除雪機や園行事用品など必要物品を安全に保管するため、輪島市からの要請を受け、セーブ・ザ・チルドレンはプレハブ倉庫設置の支援をすることにしました。倉庫は設置後、保育所の本設まで活用予定です。

数字で見る能登半島地震・豪雨緊急復興支援

2024年1月～2025年12月未までの実績

緊急子ども用キット
などの提供

のべ
839人



「こどもひろば」のべ
実施

19回 **200**人

子どもスポーツ・
文化ファンド

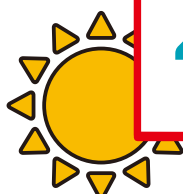
51団体
2,048人



子どもの居場所支援

放課後子ども教室・一日保育支援

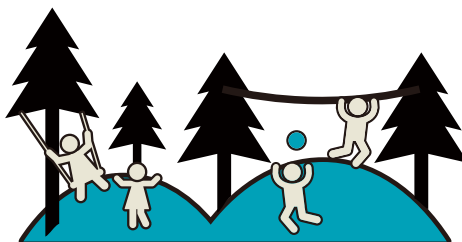
のべ
15回 **284**人



屋外での「子どもの遊び場」実施

のべ

15回 **492**人



備品支援

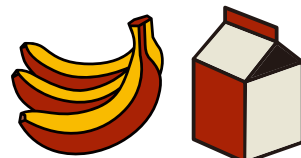


33施設
3,133人

給食補食支援

33ヶ所
2,615人

のべ30,934食



給食簡易食器
(使い捨て食器)支援

11ヶ所

826人

55回分



修学旅行

2校 **32**人

子どもアンケート

回答者

2,053人



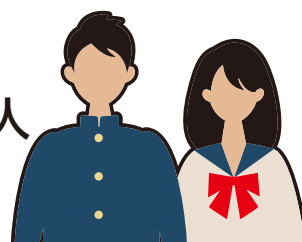
「子どものためのPFA」
研修

のべ
8回 **719**人



能登子どもサポート給付金
(2024年実施分)

4,051人



※2025年11月から12月に募集した「能登子ども給付金～卒業・新入学サポート2025～」の実績は上記に含まれていません。

能登半島地震・豪雨緊急・復興支援会計報告

(2024年1月～2025年11月末)

事業名	金額	
初動支援	16,929,332	緊急物資配布、避難所での「こどもひろば」実施含む
給食補食支援	1,325,532	
子どもの居場所支援	8,376,539	屋外での「子どもの遊び場」、放課後子ども教室サポートなど
学校備品支援	29,095,684	ヒーター、給食用設備、給食簡易食器、エアコン、プリンターなど
幼保・こども園、学童保育備品支援	6,761,048	衛生用品、食品、防災ヘルメット、衣類など
子どもの意見表明支援	1,355,132	能登子どもアンケートの実施および関連活動など
子どものためのPFA研修など	480,770	
給付金	124,542,928	「能登子どもサポート給付金」2024年実施分
能登子どもスポーツ・文化ファンド	14,739,274	
人件費	28,205,151	
管理費	25,099,958	

支出計 256,911,348 円



© 飯田町燈籠山祭り保存会

2025年も多くの皆さまから
温かいご支援・ご協力をいただき、
誠にありがとうございました。

能登半島地震・豪雨
子ども支援の
情報ページ



最新の情報については、メルマガ・ウェブサイト・SNSなどで発信していきます。

セーブ・ザ・チルドレンは、
子どもの権利のパイオニアとして
100年以上の歴史を持つ、
子ども支援専門の国際組織です。

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界
110ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・
非営利の国際組織です。子どもの権利が実
現された世界を目指し、1919年から活動
しています。



公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F
TEL: 03-6859-0070(平日9:30~18:00)
www.savechildren.or.jp

2026年1月

能登半島地震・豪雨2025年活動報告 2025年の活動+2024年の活動ハイライト